

平成27年度（福）ふじみ野福祉社会事業報告

現状及び課題

平成27年度、法人本部においては年間5回の理事会・評議員会を開催し様々な議案を提出し審議をしました。その中のひとつとして、生活課を中心に地域で失業、虐待、病気等が原因で生活に困っている方への訪問・相談事業と地域貢献を目的とした生計困難者に対する相談支援事業を開始しました。

地域課においては在宅生活を継続させるための事業として昨年度に引続き特に訪問介護が充実した1年となった他、デイサービスにおいては下半期より介護予防を兼ねて機能訓練を開始しました。また、地域包括支援センターにおいては認知症施策総合戦略の1つである認知症カフェを初めて実施しました。

地域支援課の地域密着型特養においてはユニットケアへの理解を深め、小規模多機能においては11月より定員を20名から22名に上げました。地域包括支援センターは先行して実施していた認知症施策総合戦略の1つである認知症カフェを継続的に実施しました。

栄養課においては年間32回の季節行事食を提供し、管理課においては初めての事業として求人サイトを活用しながらの職員採用やマイナンバー制度への対応を行いました。

事業計画に対して残された課題はありましたが、法人本部、各課が下記の事業を実施してきましたのでここに報告します。

1 法人本部

総合目標及び課題

- ・諸事業の執行状況、収支を確認しながら経営安定に努めます。

重点目標及び課題				成果等
(1) 両施設の健全な運営				① 両施設の運営にあたり、理事会・評議員会にて下記の議案の審議をしました。
回数 時期	理 事 会	評 議 員 会	監 事 監 査	議 案
5/19			○	平成26年度事業報告・決算報告に対する監事監査
第1回 5/27		○		1. 平成26年度 事業報告及び決算報告について 2. 理事の選出について 3. 運営規程及び重要事項説明書改正について
第1回 5/27	○			1. 平成26年度 事業報告及び決算報告について 2. 評議員の選出について 3. 運営規程及び重要事項説明書改正について
第2回 11/11		○		1. 平成27年度 第1次補正予算書について 2. 給与・退職金規程一部改正について 3. 理事・監事の選任について

第2回 11/11	○		4. 平成27年度 第1次補正予算書について 5. 給与・退職金規程一部改正について 6. 評議員の選任について
第3回 12/12		○	1. 特定個人情報取り扱い規程について 2. 特定個人情報等の保護に関する基本方針について 3. 就業規則一部改正について 4. パートタイマー・非常勤職員等の就業規則一部改正について
第3回 12/12	○		1. 理事長の互選について 2. 特定個人情報取り扱い規程について 3. 特定個人情報等の保護に関する基本方針について 4. 就業規則一部改正について 5. パートタイマー・非常勤職員等の就業規則一部改正について
第4回 1/22	○	○	1. 建物維持管理委託入札について 2. 紙おむつ入札について
第5回 3/24	○	○	1. 平成27年度 第2次補正予算書について 2. 優先入所指針一部改正について 3. 介護職員処遇改善手当支給について 4. 建物維持管理委託入札結果について 5. 紙おむつ入札結果について 6. 理事長等の専決事項に関する定款施行細則一部改正について 7. 役員等の報酬に関する規定一部改正について 8. 給与・退職金規程一部改正について 9. 経理規程一部改正について 10. 平成28年度 施設長給料の格付について 11. 平成28年度 事業計画並びに予算書について

2 管理課

総合目標及び課題

- ・職員採用をシステム化し、求人活動に重点を置き採用に結びつけるよう努めます。
- ・職員研修を計画的に実施し、スキルアップに努めます。

重点目標及び課題	成果等									
(1) 職員採用のシステム化	<p>① 各課で実施していた求人活動を管理課に集約しました。 方法は以下の通りです</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>方法</th> <th>内容</th> <th>担当</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>各課より求人内容の集約 ・職種 ・勤務形態及び時間</td> <td>管理課</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>広告及び募集（法人HP）</td> <td>管理課</td> </tr> </tbody> </table>	方法	内容	担当	1	各課より求人内容の集約 ・職種 ・勤務形態及び時間	管理課	2	広告及び募集（法人HP）	管理課
方法	内容	担当								
1	各課より求人内容の集約 ・職種 ・勤務形態及び時間	管理課								
2	広告及び募集（法人HP）	管理課								

		<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワーク ・広告求人 ・ネット求人 	
	3	応募職員への対応 <ul style="list-style-type: none"> ・面接日程調整 ・一次面接 ・体験入職 ・条件提示 	課長
	4	二次面接 選考	理事長 施設長
	5	合否 <ul style="list-style-type: none"> ・内定及び不採用通知 	管理課
	6	入職 <ul style="list-style-type: none"> ・育成指導 	入職者研修プログラム
	(2) 未収金管理の明確化	① 請求担当者を未収金管理者とし、残額を確認出来る体制を整えました。 ② 利用料を滞納された方には、事業所の担当者が個別に連絡し、お支払いしていただけるよう体制を整えました。	
(3) 部屋、衣類の名前の確認	① 部屋の名前を確認して、衣類整理を行いました。		
(4) 新規法令への対応	① マイナンバー制度に対応し、職員の個人番号の収集・保管・利用・提供・廃棄を適切に行いました。		

委員会

・合同研修委員会

重点目標及び課題	成果等															
(1) 内部研修の計画的実施	今年度は以下のとおり、内部研修を実施しました。 ① 課長・管理者研修 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>月 日</th> <th>研修内容</th> <th>場 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8月26日</td> <td>リーダーシップとは、上司像等</td> <td>むさしの</td> </tr> <tr> <td>9月21日</td> <td>職員採用面接の標準化等</td> <td>むさしの</td> </tr> <tr> <td>10月27日</td> <td>職員採用面接の標準化等</td> <td>ひだまり</td> </tr> <tr> <td>11月25日</td> <td>応募者に示す内容等</td> <td>ひだまり</td> </tr> </tbody> </table>	月 日	研修内容	場 所	8月26日	リーダーシップとは、上司像等	むさしの	9月21日	職員採用面接の標準化等	むさしの	10月27日	職員採用面接の標準化等	ひだまり	11月25日	応募者に示す内容等	ひだまり
月 日	研修内容	場 所														
8月26日	リーダーシップとは、上司像等	むさしの														
9月21日	職員採用面接の標準化等	むさしの														
10月27日	職員採用面接の標準化等	ひだまり														
11月25日	応募者に示す内容等	ひだまり														

(2) 入職者研修の計画的実施	② リーダー研修																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月 日</th> <th>研修内容</th> <th>場 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8月17日</td> <td>リーダー像、リーダーに近づくための1歩宣言等</td> <td>むさしの</td> </tr> <tr> <td>9月16日</td> <td>入職者研修の標準化①</td> <td>むさしの</td> </tr> <tr> <td>10月13日</td> <td>入職者研修の標準化②</td> <td>ひだまり</td> </tr> <tr> <td>11月17日</td> <td>入職者研修の標準化③</td> <td>ひだまり</td> </tr> </tbody> </table>	月 日	研修内容	場 所	8月17日	リーダー像、リーダーに近づくための1歩宣言等	むさしの	9月16日	入職者研修の標準化①	むさしの	10月13日	入職者研修の標準化②	ひだまり	11月17日	入職者研修の標準化③	ひだまり														
	月 日	研修内容	場 所																											
	8月17日	リーダー像、リーダーに近づくための1歩宣言等	むさしの																											
	9月16日	入職者研修の標準化①	むさしの																											
	10月13日	入職者研修の標準化②	ひだまり																											
	11月17日	入職者研修の標準化③	ひだまり																											
	③ 全職員対象研修																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>月 日</th> <th>研修内容</th> <th>場 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8月20日</td> <td rowspan="2">身体拘束廃止研修</td> <td>むさしの</td> </tr> <tr> <td>11月3日</td> <td>ひだまり</td> </tr> <tr> <td>12月16日</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>6月4・18日</td> <td rowspan="2">介護職員への褥瘡予防対策研修</td> <td>むさしの</td> </tr> <tr> <td>6月15・16日</td> <td>ひだまり</td> </tr> <tr> <td>5月25・28日</td> <td rowspan="2">感染症対策研修</td> <td>ひだまり</td> </tr> <tr> <td>6月1・3日</td> <td>むさしの</td> </tr> <tr> <td>5月19・20日</td> <td rowspan="2">事故発生防止研修</td> <td>むさしの</td> </tr> <tr> <td>5月25・28日</td> <td>ひだまり</td> </tr> <tr> <td>入浴場において適宜実施</td> <td>浴室において実施した入浴事故防止研修</td> <td>むさしの ひだまり</td> </tr> </tbody> </table>	月 日	研修内容	場 所	8月20日	身体拘束廃止研修	むさしの	11月3日	ひだまり	12月16日			6月4・18日	介護職員への褥瘡予防対策研修	むさしの	6月15・16日	ひだまり	5月25・28日	感染症対策研修	ひだまり	6月1・3日	むさしの	5月19・20日	事故発生防止研修	むさしの	5月25・28日	ひだまり	入浴場において適宜実施	浴室において実施した入浴事故防止研修	むさしの ひだまり
	月 日	研修内容	場 所																											
	8月20日	身体拘束廃止研修	むさしの																											
	11月3日		ひだまり																											
	12月16日																													
	6月4・18日	介護職員への褥瘡予防対策研修	むさしの																											
	6月15・16日		ひだまり																											
5月25・28日	感染症対策研修	ひだまり																												
6月1・3日		むさしの																												
5月19・20日	事故発生防止研修	むさしの																												
5月25・28日		ひだまり																												
入浴場において適宜実施	浴室において実施した入浴事故防止研修	むさしの ひだまり																												
① 入職者研修は下記の研修を実施しました。 ・施設長オリエンテーション・管理課オリエンテーション・配属先OJT・看護研修・リハ研修・防災研修・他課研修																														
② 外部研修は埼玉県社協等各職種の研修に多くの職員が参加し、キャリアアップに努めました。																														

広報委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 期日の厳守	① 期日を厳守することにより、広報誌の発行に余裕をもてました。
(2) 行事写真の充実化	① 文章よりも写真を多く掲載することにより、利用者様のご様子が分かりやすくお知らせすることが出来ました。

防災委員会

重点目標及び課題	成果等																																																						
(1) 防災訓練の実施	<p>① 利用者の生命と身体の安全を最優先に不足の災害に対応するよう毎月計画を立て、消火、避難訓練、緊急に備えた心肺蘇生法をひだまり合同で実施しました。</p> <p>② 地域合同防災訓練は、むさしのは9月27日、ひだまりでは11月21日に不時の災害時に備え、富士見消防署のご指導もと消火訓練、煙体験地震体験等を行い、また防災の講話をしていただきました。各地区町会の皆さん、職員共に真剣に聞き、防災について再認識をしました。</p> <table border="1" data-bbox="483 622 1433 1850"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施日</th> <th>訓練内容</th> <th>参加者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1</td> <td>4/14</td> <td>消火訓練（消火器） ひだまり</td> <td>職員 15名 民生委員 2名</td> </tr> <tr> <td>4/15</td> <td>消火訓練（消火器） むさしの</td> <td>職員 18名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2</td> <td>5/10</td> <td>災害時訓練（停電） むさしの</td> <td>職員・利用者 100名</td> </tr> <tr> <td>5/17</td> <td>災害時訓練（停電） ひだまり</td> <td>職員・利用者 60名</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>6/15</td> <td>避難訓練（消火・避難・通報） むさしの</td> <td>職員・利用者 100名</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>7/16</td> <td>夜間訓練（消火・避難・通報） むさしの</td> <td>職員・利用者 30名</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>8/18</td> <td>消火訓練（消火栓） むさしの</td> <td>職員 12名</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>9/27</td> <td>地域合同防災訓練 むさしの （消火訓練・煙体験・講話）</td> <td>職員 13名 地域の皆さん 55名</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>11/18</td> <td>応急訓練 合同 （心肺蘇生・AED使用法）</td> <td>職員 17名</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>11/21</td> <td>地域合同防災訓練 ひだまり （避難訓練・消火訓練・地震体験・講話）</td> <td>職員 18名 地域の皆さん 25名</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>12/17</td> <td>応急訓練 合同 （心肺蘇生・AED使用法）</td> <td>職員 10名</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>1/15</td> <td>避難訓練（消火・避難・通報） むさしの</td> <td>職員・利用者 100名</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>3/30</td> <td>夜間訓練（消火・避難・通報） むさしの</td> <td>職員・利用者 30名</td> </tr> </tbody> </table>		実施日	訓練内容	参加者	1	4/14	消火訓練（消火器） ひだまり	職員 15名 民生委員 2名	4/15	消火訓練（消火器） むさしの	職員 18名	2	5/10	災害時訓練（停電） むさしの	職員・利用者 100名	5/17	災害時訓練（停電） ひだまり	職員・利用者 60名	3	6/15	避難訓練（消火・避難・通報） むさしの	職員・利用者 100名	4	7/16	夜間訓練（消火・避難・通報） むさしの	職員・利用者 30名	5	8/18	消火訓練（消火栓） むさしの	職員 12名	6	9/27	地域合同防災訓練 むさしの （消火訓練・煙体験・講話）	職員 13名 地域の皆さん 55名	7	11/18	応急訓練 合同 （心肺蘇生・AED使用法）	職員 17名	8	11/21	地域合同防災訓練 ひだまり （避難訓練・消火訓練・地震体験・講話）	職員 18名 地域の皆さん 25名	9	12/17	応急訓練 合同 （心肺蘇生・AED使用法）	職員 10名	10	1/15	避難訓練（消火・避難・通報） むさしの	職員・利用者 100名	11	3/30	夜間訓練（消火・避難・通報） むさしの	職員・利用者 30名
	実施日	訓練内容	参加者																																																				
1	4/14	消火訓練（消火器） ひだまり	職員 15名 民生委員 2名																																																				
	4/15	消火訓練（消火器） むさしの	職員 18名																																																				
2	5/10	災害時訓練（停電） むさしの	職員・利用者 100名																																																				
	5/17	災害時訓練（停電） ひだまり	職員・利用者 60名																																																				
3	6/15	避難訓練（消火・避難・通報） むさしの	職員・利用者 100名																																																				
4	7/16	夜間訓練（消火・避難・通報） むさしの	職員・利用者 30名																																																				
5	8/18	消火訓練（消火栓） むさしの	職員 12名																																																				
6	9/27	地域合同防災訓練 むさしの （消火訓練・煙体験・講話）	職員 13名 地域の皆さん 55名																																																				
7	11/18	応急訓練 合同 （心肺蘇生・AED使用法）	職員 17名																																																				
8	11/21	地域合同防災訓練 ひだまり （避難訓練・消火訓練・地震体験・講話）	職員 18名 地域の皆さん 25名																																																				
9	12/17	応急訓練 合同 （心肺蘇生・AED使用法）	職員 10名																																																				
10	1/15	避難訓練（消火・避難・通報） むさしの	職員・利用者 100名																																																				
11	3/30	夜間訓練（消火・避難・通報） むさしの	職員・利用者 30名																																																				
(2) 防災訓練への全職員の参加及び、職	<p>① 皆が参加できるよう早めに計画を立て、各課に役割を指示し、直前に声かけをし、担当者の確認、打ち合わせをしました。</p>																																																						

員への周知徹底	<p>② ひだまりができてからは本体と同じように消火訓練等計画を立てて行い、実施内容によっては合同で行いました。</p> <p>③ 被災地支援及び職員研修の一環で東松島市表敬訪問し10万円寄付をしました。また、社会福祉法人やすらぎ会において交流推進活動や生活支援等をふじみ野福祉会職員、南畑第5町会、富士見市役所職員、社会福祉法人しおん職員計23名で実施しました。東日本大震災が風化されつつある中で、当時を振り返ると共に自施設での防災意識の向上に繋がりました。</p>
---------	--

・衛生委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 職員の健康管理	<p>① 極端な長時間労働者はありませんでした。36協定の内容をもとに協定書を超えた長時間労働を行わないよう、再確認をしました。</p> <p>② ストレスチェック制度実施規程を委員会内で審議しました。実施は次年度からとなります。</p>
(2) 会議内容の確立	<p>① 産業医より毎月タイムリーな話題提供を頂きました。また、審議内容についても季節的議案を積極的に取り入れました。</p> <p>② 会議参加の出席を促し、欠席した委員からも意見を伺うなどの配慮を行いました。</p>

3 生活課

総合目標及び課題

- ・やさしさのある丁寧で良質な介護とサービスの提供をし、事故予防に努めます。
- ・清潔で生活感のある支援を実現するように利用者との関わりを多く持ちます。

介護

重点目標及び課題	成果等
(1) 安全な介護による事故予防・防止	<p>① 認識不足・誤認をなくすため、サービス変更時は担当職員から個人個人へ指導・引継ぎを行い、共通認識を深めました。口頭での引継ぎを中心にした結果、効果も随所で感じることができました。</p> <p>② 複数回の事故報告書が挙がった利用者に対して、安全委員会と連携し、毎月のフロアー会議で事故予防の対策協議を行いました。周知・連絡が全体に行き届かず対応が疎かになってしまうこともありました。</p>
(2) 正しい姿勢での食事	<p>① 利用者の椅子への座り替えやクッション等を使用し、個人個人に合わせた姿勢保持に努め正しい姿勢で食事ができるようになりました。</p> <p>② 看護・リハビリの意見に依存してしまう傾向があったので、介護職員自らが考えて、提案や実践をすることが今後の課題です。 各セクションとの意見交換を大切に、職員の成長に繋がりたいと考えています。</p> <p>③ 職員意識が向上し、利用者にきちんと視線を合わせた食事介助が実践できました。次年度も継続して実践します。</p>
(3) 職員のスキルアップ	<p>① 実地研修を継続的に実践できなかった点で課題が残りました。 開催要項等の検討を行い、より継続性のある計画を検討します。</p> <p>② 職員一人一人が自らの課題として取り組んでいることもあり、日を追うごとに接遇意識が向上していると感じています。 少しでもありますが、職員間でもお互いの接遇について指摘する場面が増えてきました。今後もより丁寧な接遇を目標として取り組みます。</p>
(4) 生活余暇への取り組み	<p>① 口腔ケア体操は着実に浸透してきており、ラジオ体操も継続して実施できています。生活余暇としての活動が十分ではなかったため、次年度はより具体的な個別ニーズを把握することにアプローチします。</p>

(5) 年間諸行事

	行事名	内容	対象者	実施場所
4/8	行事食	昼食時江戸前寿司、太巻きセットを 召し上がる。	2、3階利用者	各ユニット食堂
4/23	行事食	昼食にちらし寿司を召し上がる。	2、3階利用者	各ユニット食堂

5/1	端午の節句	皆さんで兜を作成し、写真撮影を行う。	2、3階利用者	2階：中央ホール 3階：各ユニット
5/26	行事食	昼食に鶏そぼろ弁当を召し上がる。	2、3階利用者	各ユニット食堂
6/11	行事食	昼食にお寿司を召し上がる。	2、3階利用者	各ユニット食堂
7/7	七夕	思い思いの願いを込めて短冊を作成する。	2階利用者	中央ホール
7/7	七夕	短冊を作成し、初夏を感じるアイスクリームを召し上がる。	3階利用者	各ユニット
7/25	納涼祭	太鼓やお神輿、職員余興を楽しんで頂く。食事は豪華な屋台風の行事食。	2、3階利用者	施設敷地内
8/6	行事食	昼食にお寿司を召し上がる。	2、3階利用者	各ユニット食堂
8/18	行事食	昼食に助六弁当を召し上がる。	2、3階利用者	各ユニット食堂
9/3	行事食	昼食にお寿司を召し上がる。	2、3階利用者	各ユニット食堂
9/12	長寿を祝う会	年寿者のお祝いをし、昼食は豪華な祝い膳をご家族と一緒に召し上がる。	2、3階利用者	各階中央ホール
10/6	行事食	昼食にお寿司を召し上がる。	2、3階利用者	各ユニット食堂
10/31	防災訓練食	災害時を想定し、α米を含む非常用食品を昼食に提供。	2、3階利用者	各ユニット食堂
11/3	行事食	昼食にのり弁当を召し上がる。	2、3階利用者	各ユニット食堂
11/19	鍋行事	昼食にちゃんこ鍋を召し上がる。	さくら利用者	さくらユニット食堂
11/20	鍋行事	昼食に寄せ鍋を召し上がる。	きく利用者	きくユニット食堂
11/24	鍋行事	昼食にキムチ鍋を召し上がる。	ふじ利用者	ふじユニット食堂
11/26	鍋行事	昼食にキムチ鍋を召し上がる。	もみじ利用者	もみじユニット食堂
11/27	鍋行事	昼食に寄せ鍋を召し上がる。	きり利用者	きりユニット食堂
11/30	鍋行事	昼食にちゃんこ鍋を召し上がる。	ゆり利用者	ゆりユニット食堂
12/13	もちつき	ご家族と一緒に餅つきを行い、昼食はつきたてのお餅を召し上がる。	2、3階利用者	各階中央ホール
12/17	行事食	昼食に豪華なカニちらし寿司を召し上がる。	2、3階利用者	各ユニット食堂
12/25	クリスマス	昼食にクリスマスにちなんだ豪華な食事を召し上がる。	2、3階利用者	各ユニット食堂

12/31	大晦日	夕食に年越しそばを召し上がり、年の瀬を振り返る。	2、3階利用者	各ユニット食堂
1/1～ 1/3	お正月	おせち料理や雑煮・お寿司・天ぷらなどを召し上がり、新年を皆さんでお祝いする。	2、3階利用者	各ユニット食堂
1/9	新年会	手作りの獅子舞やボランティア余興を楽しみ、ご家族一緒に新年のお祝いをする。	2、3階利用者	各階中央ホール
2/3	節分	豆まきをし、一年間の無病息災を願う。	2、3階利用者	各階中央ホール
2/23	行事食	昼食に五目ちらし寿司を召し上がる。	2、3階利用者	各ユニット食堂
3/3	雛祭り	雛壇を前に歌や写真撮影を行い、春の季節を感じて頂く。	2、3階利用者	各階中央ホール
3/15	行事食	昼食にお寿司を召し上がる。	2、3階利用者	各ユニット食堂
3/21	ぼたもち作り	お彼岸の時期に合わせて皆さんでぼたもちを作る。	2階利用者	2階中央ホール
3/22	ぼたもち作り	お彼岸の時期に合わせて皆さんでぼたもちを作る。	3階利用者	3階中央ホール

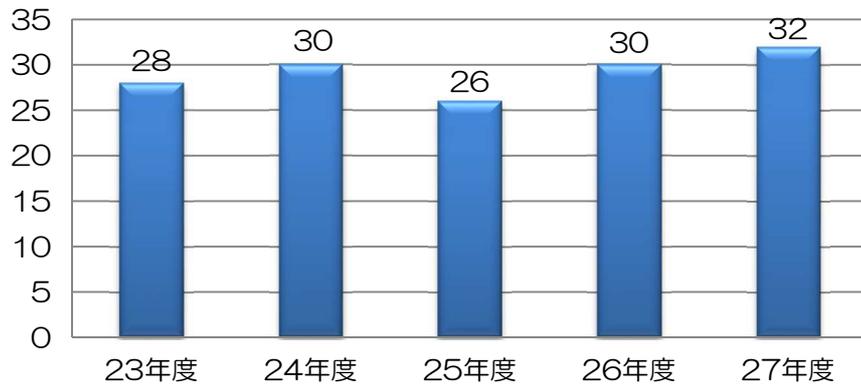
看護

重点目標及び課題	成果等
(1) 日常生活の健康管理	<p>① 主観的・客観的データの把握と介護職員との情報交換を密にすることにより、個々の健康状態の把握ができました。</p> <p>② ①ができていることにより状態の変化を早期に気づく事ができ、早めの対応・受診ができました。入院者日数も前年と比較し減少しました。(今年度は一人の方が複数回入退院を繰り返すことが多かった。)</p>

延べ入院日数

年度	延べ入院日数
23年度	489
24年度	662
25年度	533
26年度	793
27年度	655

延べ入院者数

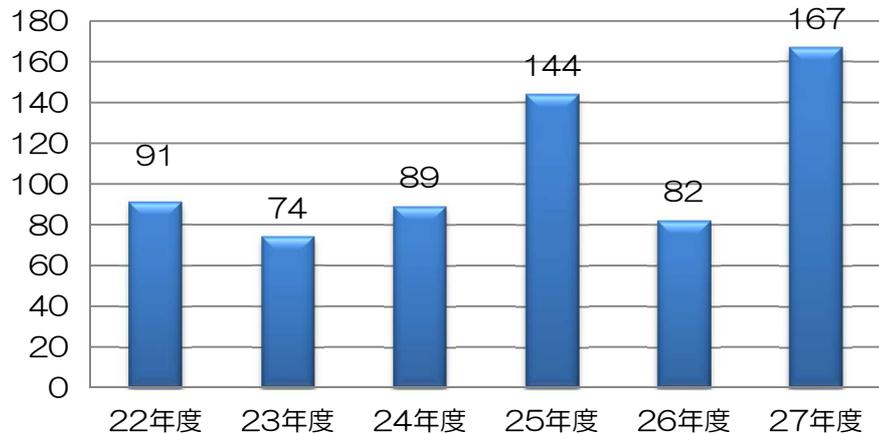


(2) 他職種との連携強化	<ul style="list-style-type: none"> ① 介護職員に対しては、誰にでもわかり継続できるよう、指示内容を紙ベースで指示することでケアの統一を図りました。少しずつではありますが、ケアの統一ができました。 ② 引継ぎ書を使い、必要な対応を毎日チェックし、変更があれば書き換え、新しい対応については書き加えることによりケアの継続ができるようになりました。 ③ 個々に適した食事提供ができるように、他職種との連携を図りました。 ④ 相談員との情報交換は随時行っていますが、行き違いだったり、対応が遅くなったりすることもありました。今後はより密に情報交換を行います。
(3) 薬剤・投薬の適切な管理と指導	<ul style="list-style-type: none"> ① 管理・指導を定期的実施しましたが、誤薬等の事故がゼロではありませんでした。個人の注意不足が一番の原因ではありますが、引き続き起きないように努めます。
(4) 職員への医療教育及びスキルアップ	<ul style="list-style-type: none"> ① 職員間のコミュニケーションや新入職者の研修はできました。今後も継続できるよう努力します。 ② 緊急時対応等の研修についてはできませんでしたが、その場面、場面においてお互いに分からない事や疑問に思ったことなど解決するようにしました。

相談

重点目標及び課題	成果等
(1) 特養入所の稼働率の向上と安定確保	<ul style="list-style-type: none"> ① 特養の年間平均稼働率は96.6%、年間目標の達成には至りませんでした。年間通しての入院日数合計では昨年度より138日減少しましたが、死亡及び生存退所者の増加に伴い新規本入所者を入所するまでの日数が昨年度より85日増加してしまいました。

空床期間合計



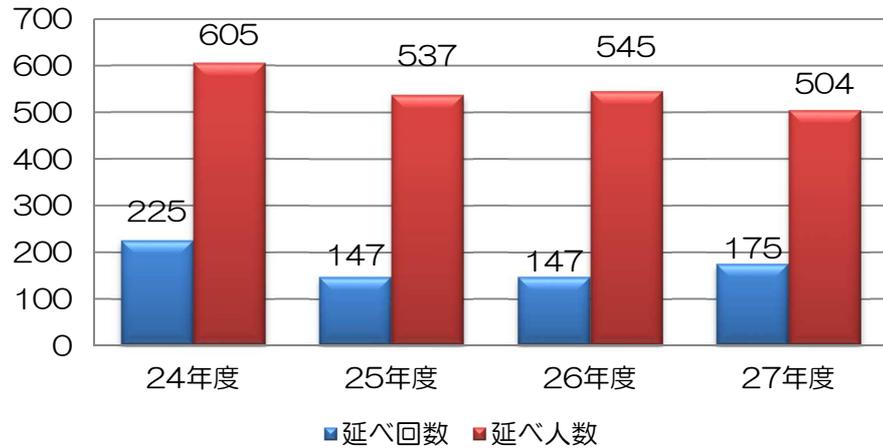
- ② 月 1 回の入所検討委員会を実施しました。民生委員の方々の参加もあり入所決定過程の公平性を保ちつつ、必要性の高い方から優先的に入所できるようにしました。また、優先入所指針の評価基準の一部改正を実施しました。待機者の内、より中重度な方が円滑に入所出来るようにするため、本人の状況の評価点を改正し施設入所の役割の向上に努めました。
- ③ 今年度の入院者の入院日数合計が 655 日間となり昨年度より削減となりました。1 日平均 2.5 人・平均入院日数は 19.8 日です。考察としては、入院期間減少を念頭に病院と密に調整できるよう入院者がいる場合は必ず面会と状況確認のため病院に出向く事を決め実施しました。また、入所時にも利用者の過去の入院歴の把握することで、早期の対応と入院リスク削減が行えると考え、支援を実施しています。

(2) 短期入所生活介護の稼働率向上と継続的な営業活動の実施

- ① 短期入所生活介護の年間平均稼働率は 82.0%と目標にしていた稼働率には至りませんでした。定期的に居宅介護支援事業所には訪問し、空床情報などの情報提供を実施しています。個人個人の利用日数の増加や新規利用者からの定期的な利用の継続が出来なかった事が原因としてあげられます。
- ② 居宅介護支援事業所に対して毎月 1 回、空床情報などを記載したむさしの便りを発行して営業活動を実施しました。また定期的に、他業所に訪問し介護支援専門員とコミュニケーションを図り、営業活動を実施しています。新規利用者を年間で 47 名受入れ実施し、延べ日数は 307 日間の実績を残す事が出来ました。緊急での利用も積極的に実施しました。
- ③ 短期入所生活介護を利用して頂くにあたり、契約時にご家族の不安も含め、丁寧に説明することに心掛けました。短期入所生活を利用した後でも、生活の向上や今後のサービスの情報提供となるような支援を実施しました。介護支援専門員と密に情報共有をサービスの向上に努めました。

<p>(3) 利用者本位のケアプラン作成及び説明の実施</p>	<p>① 利用者のニーズの把握を普段の生活からの情報収集に心掛け、ケアプラン作成をしました。ひとりの利用者の生活支援に対して専門職から成っていることを共通認識としてプランの作成をし、利用者本位・自立支援に沿ったケアカンファレンスを実施しました。</p> <p>② 各職種が協働して専門的なアセスメントを実施し利用者・家族・施設などの要望を調整し話し合いを経て、生活に対しての共通認識及び、十分に納得を得るように今後もサービスについての合意は継続的に実施します。</p>																																																															
<p>(4) 社会資源の活用による施設にあったボランティアの積極的な受入れ</p>	<p>① 今年度、新規 4 件のボランティアの受入れを実施しました。既存のボランティアにも継続的に来苑して頂き昨年度を上回る活動回数となりました。個別に趣味活動を取り入れた活動も実施し利用者の活気ある生活が出来るよう努めました。</p> <table border="1" data-bbox="448 763 1361 1803"> <thead> <tr> <th>クラブ名</th> <th>活動回数（回）</th> <th>延べ人数（名）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>カラオケクラブ</td><td>9</td><td>28</td></tr> <tr><td>音楽クラブ</td><td>21</td><td>31</td></tr> <tr><td>大正琴クラブ</td><td>9</td><td>36</td></tr> <tr><td>お茶クラブ</td><td>12</td><td>60</td></tr> <tr><td>みよし氣巡り健康会</td><td>5</td><td>13</td></tr> <tr><td>直利会</td><td>3</td><td>36</td></tr> <tr><td>傾聴ボランティア</td><td>20</td><td>38</td></tr> <tr><td>ハーフトーンズ</td><td>3</td><td>21</td></tr> <tr><td>白百合会</td><td>6</td><td>24</td></tr> <tr><td>江戸芸かっぼれ</td><td>6</td><td>24</td></tr> <tr><td>明るい社会づくりの会</td><td>12</td><td>96</td></tr> <tr><td>生活支援ボランティア</td><td>34</td><td>34</td></tr> <tr><td>大井チンドン座</td><td>1（納涼祭）</td><td>13</td></tr> <tr><td>富士見太鼓</td><td>1（納涼祭）</td><td>12</td></tr> <tr><td>ハッピー演歌塾</td><td>6</td><td>6</td></tr> <tr><td>富士政会（新規）</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>ハッピーガールズ（新規）</td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>シャボン玉（新規）</td><td>1</td><td>4</td></tr> <tr><td>大人の折り紙（新規）</td><td>24</td><td>24</td></tr> <tr><td>合計</td><td>175回</td><td>504名</td></tr> </tbody> </table>	クラブ名	活動回数（回）	延べ人数（名）	カラオケクラブ	9	28	音楽クラブ	21	31	大正琴クラブ	9	36	お茶クラブ	12	60	みよし氣巡り健康会	5	13	直利会	3	36	傾聴ボランティア	20	38	ハーフトーンズ	3	21	白百合会	6	24	江戸芸かっぼれ	6	24	明るい社会づくりの会	12	96	生活支援ボランティア	34	34	大井チンドン座	1（納涼祭）	13	富士見太鼓	1（納涼祭）	12	ハッピー演歌塾	6	6	富士政会（新規）	1	2	ハッピーガールズ（新規）	1	2	シャボン玉（新規）	1	4	大人の折り紙（新規）	24	24	合計	175回	504名
クラブ名	活動回数（回）	延べ人数（名）																																																														
カラオケクラブ	9	28																																																														
音楽クラブ	21	31																																																														
大正琴クラブ	9	36																																																														
お茶クラブ	12	60																																																														
みよし氣巡り健康会	5	13																																																														
直利会	3	36																																																														
傾聴ボランティア	20	38																																																														
ハーフトーンズ	3	21																																																														
白百合会	6	24																																																														
江戸芸かっぼれ	6	24																																																														
明るい社会づくりの会	12	96																																																														
生活支援ボランティア	34	34																																																														
大井チンドン座	1（納涼祭）	13																																																														
富士見太鼓	1（納涼祭）	12																																																														
ハッピー演歌塾	6	6																																																														
富士政会（新規）	1	2																																																														
ハッピーガールズ（新規）	1	2																																																														
シャボン玉（新規）	1	4																																																														
大人の折り紙（新規）	24	24																																																														
合計	175回	504名																																																														

ボランティア延べ回数・人数



② 継続的にボランティア活動ごとに、活動記録の記入をお願いしました。施設及び活動ボランティアの方々とは協働にて利用者に対する利益ある活動をするために行いました。そのことが、活動するボランティアの方々にも今後の活動の反省となり協働し継続的に活動して頂いております。今年度も3月には施設にて年間通して活動して頂いたボランティアを対象に「ボランティア感謝の集い」を開催し一年間の感謝と親睦を深めました。参加は団体・個人を合わせ24クラブ、81名の参加がありました。

(5) 他機関及び行政との連絡調整及び地域貢献の実施

① 利用者が入所するにあたり、入所経路は様々です。それに伴い他機関や行政との関わりは必要不可欠と考え、各関連機関との調整や連携は密に取りました。行政のみではなく、協力病院や医療機関についても同様に調整、連携を行いました。

② 地域との連携強化を目指し、地域に施設の機能を理解して頂くために施設行事や地域行事の参加を積極的に実施しました。季節行事や、防災の連携等協力体制を構築することで、施設の役割の理解や利用者の参加により充実した生活をすることができました。

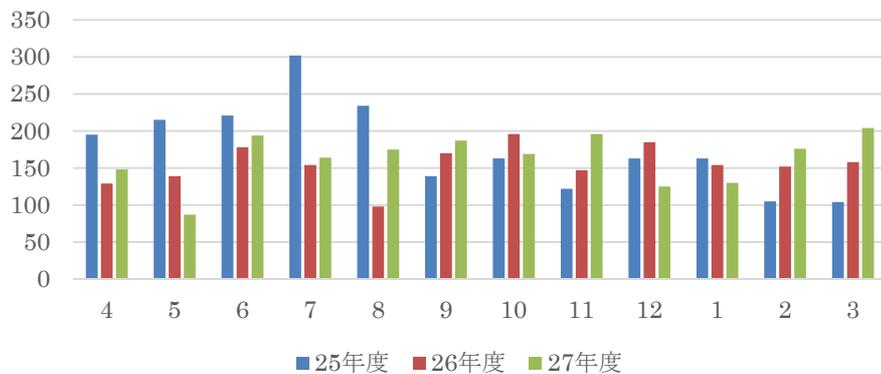
リハビリ

重点目標及び課題	成果等
(1) チームケアの質の向上	<p>① 数名ではありますが介護職員より利用者様の動作や日常生活において気になる事を共に話し合いながら改善することができました。</p> <p>② 利用者に行いたいリハビリ計画を立て、ケース会議にて提案を行いケアプランと共に活用しました。以下の表は27年度のリハビリ実施人数です。機能訓練士1名で1日に約9名を実施しました。</p>

<27年度リハビリ実施人数一覧>

月	日数	2F	3F	合計	平均延べ人数
4月	17	125	23	148	8.7
5月	17	70	17	87	5.1
6月	18	145	49	194	10.7
7月	18	100	64	164	9.1
8月	17	108	67	175	10.2
9月	17	94	93	187	11
10月	18	84	85	169	9.3
11月	17	87	109	196	11.5
12月	17	60	65	125	7.3
1月	16	64	66	130	8.1
2月	17	84	92	176	10.3
3月	18	89	115	204	11.3
合計	207日	1110	845	1955	9.4

機能訓練月別延べ人数



安全委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) ヒヤリハット報告書と事故報告書の書式別作成、協議	① 各書式別作成、分類などの取り組みは行えなかったため、再度協議を行います。

(2) 報告書の周知徹底に対する対策及び事故防止への取り組み	① 今までは、パソコン内での周知のみでしたが、報告書を1件毎印刷し掲示をしました。 ② 毎月のフローア会議で、転倒、転落が多い方への対策を協議し、事故予防へのアプローチを行いました。対策の周知と実行を確実にできるよう、引き続き実施します。
--------------------------------	--

排泄委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 各利用者に合ったオムツの選定、自然排泄への継続した支援の実施	① 他職員の意見も聞きながら利用者にあったオムツ・パットの選定を行うことができました。 ② 今年度から栄養課と協力し排便困難者にサンファイバー（食物繊維）を提供し自然排便を促しました。その過程で普段どのような排便コントロールをしているかによって効果の有無が分かってきたので来年度も継続して実施します。 ③ トイレでの自然排泄については十分な取り組みが出来たとは言えないため、継続して実施します。
(2) 職員のスキルの向上	① 新入職員・指導が必要な職員を対象に新入職員の入社に合わせて白十字の方に来ていただきパット・オムツの当て方の研修をしました。

入浴委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 感染症対策	① 面接表や既往歴などを確認しながら、利用者の特性把握をしました。結果、入浴時における感染症は発生しませんでした。
(2) 安全な入浴介助への取組み（転落事故・転倒事故・怪我等の入浴事故防止対策）	① 利用者の日常生活動作に合わせて、入浴形態の変更を適宜行いました。 ② 入浴介助時の事故が起きないように持ち場を離れる際の声掛けは徹底してできました。

食事委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 誤嚥防止マニュアルに沿った食事介助の実施状況の確認	① 誤嚥防止マニュアルの作成を行いました。食事介助中は職員も目線を合わせるため、椅子を使用しており、職員間で声を掛け合いほぼ定着できました。 ② 口腔体操については各階で実施ができましたが、課題も多く来年度は振り

	返りや修正を行い、より良い形で行えるよう努めます。
(2) 食事内容のさらなる充実	① 嗜好調査等のアンケート、利用者懇談会による聞き取りを行い、引き続き要望にできるだけ沿った内容の食事提供を行います。

整容委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 整容・身だしなみを整える	① 起床時以外での整髪・随時の衣類交換は職員個々に臨機応変に対応しました。次年度は更なる意識付けを図ります。
(2) 車イスの清掃・清潔保持	① 車椅子が汚れた際は、個々に掃除を行い、入浴時に拭きあげる等の対応をしました。汚れが目立つ際にもその都度清掃を行いました。
(3) 清潔な環境整備の実施	① 一日に複数回の換気は職員の意識も高く行えています。アルコール消毒に関しては、個々でバラつきがありました。消毒ボトルは各ユニットに置き、いつでも行えるようにしました。 ② 感染症流行時の事前準備として、ノロウイルスに関してアナウンスし加湿器の使用、清掃を促す等、事前に周知・対応の実施を行うことが出来ました。今年度はインフルエンザの流行も少なく済み、次年度も一層流行期には事前準備を徹底します。

身体拘束廃止に向けた検討委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 言葉の拘束についてのマニュアル作成	① マニュアルを完成することはできませんでしたが、マニュアルの基となるアンケートを一年通して全職員に実施することができました。
(2) 言葉の拘束をゼロにするために必要な研修の開催	① 今年度は、認知症サポーター講座に全職員参加、資格取得を目標として行い、半数程度がサポーター資格を取得しました。また、毎月行ったアンケートでは個々に拘束について考えてもらうことができたと思います。

生計困難者に対する相談支援事業

重点目標及び課題	成果等
(1) 担当相談員の配置並びに相談活動	① 社会福祉法人の使命として社会福祉貢献事業を実施するにあたり今年度より「彩の国あんしんセーフティネット事業」に施設として関わりました。
(2) 経済的援助	① 援助の実績として2件の相談がありました。1件は相談のみでの終結とな

<p>(3) 研修会への参加</p>	<p>り、もう 1 件は経済的援助での実績となりました。各相談では、相談員が訪問しアセスメントを実施し施設長に相談及び報告を随時実施しました。</p> <p>② 相談者には、施設に持ち帰り施設長相談の上、支援の決定有無をする旨を連絡しました。上記のように、施設長決裁にて経済的援助の可否を決定しました。</p> <p>① 相談員として研修に参加しました。担当職員による相談支援の流れ・訪問と相談・経済的援助の必要性の検討・施設長決定・経済的援助（現物給付）のすすめ方等の方法などを確認しスキル向上に努めました。</p>
--------------------	---

4 地域課

総合目標及び課題

- ・地域課各事業が報・連・相を行って連携を密にとり、高齢者の在宅生活を支えます。
- ・改めて接遇の大切さを肝に銘じ、利用者処遇に取り組みます。

デイサービスセンター

重点目標及び課題	成果等
(1) 稼働率の向上のための取組み	<p>① 今年度の年間稼働率は73.8%で、目標である71%をクリアし、昨年度と比較すると3.3%上昇しました。10月より新たな取り組みとして個別機能訓練が開始され、その効果もあり、26年度と比べると減少率は緩やかでした。寒気ピークの1月になると、入院する利用者が増え、在宅生活に復帰できない利用者も出るなど、稼働率が思うように伸びませんでした。</p> <p>② サービスの魅力や報告書の充実を図るため、以下の新規作成や改定をしました。ケアマネジャーやご家族にも配布し、発信しました。今後も、引き続き質を高めながら継続していくことが課題です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット全面改訂・活動記録（タイトル・写真追加）・月間デイ通信 <p>③ 10月より個別機能訓練を開始しました。3月末現在、10人の参加者があり、月・水・土に実施しています。3ヶ月ごとに更新があり、自宅に赴いてモニタリングと計画更新を実施することが好評で、ご家族の意見をもらいながら、しっかりとした訓練ができました。訓練目的の新規獲得もあり、今後も引き続き新たな参加者を募りながら安定した運営を目指します。</p>
(2) 相談援助サービス業務	<p>① ご家族には連絡帳や送迎時などを通して、ケアマネジャーには活動記録や担当者会議などを通して小まめな情報提供を行いました。小さなものでも情報の共有とし、お互いの信頼関係を築きました。</p> <p>② 現場職員が通所介護計画における利用者の目的を周知することこそが、確実な支援につながると考え、伝達だけではなく計画書の閲覧を促しました。なかなか業務時間内に閲覧できないとの意見もあり、工夫して閲覧できる環境作りが課題です。</p>
(3) 医務・機能訓練	<p>① 健康管理や服薬管理、処置など、医務としての役割を再認識し、必要があれば、朝夕礼で事前情報に基づいた指示を介護職に伝え、連携を図りました。</p> <p>② 利用者に必要な薬は、ご家族に依頼し、必要な処置をしました。また、連絡帳や送迎時などを通して、実施した処置や受診の依頼を伝えました。</p> <p>③ 医務としての気付きを大切に、少しでも気になることがあれば、リーダーや相談員に連絡し相談をしました。体調が気になる利用者がいれば、帰宅時、医務が添乗しご家族に状態を説明し、救急の要請があれば、救急救</p>

<p>(4) 基本に忠実な仕事場作り</p>	<p>命士への引継ぎを補助することもありました。</p> <p>① 使用する機会がめったにない、医療機器（水銀血圧計・酸素ボンベ・吸引器）や送迎緊急時を想定しての勉強会を行いました。</p> <p>② 業務の見直しはリーダーへの提案を窓口として、デイフロアー会議の議案として、話し合いをしました。</p> <p>議案例：誘導時、玄関先で見守りがなく一人でいたり、座席に座るまでしっかり誘導をしない危険な場面が見られた。</p> <p>見直し結果：1人になればどのような危険があるかを予見すること。また、その場を離れる際は必ず引継ぎを行い安全を確保する。座席誘導の際も、もしかしたら、座り損ねて尻餅をつくかもしれないなどの予見をしながら最後まで責任を持つ。</p> <p>③ 誰もが統一した支援ができるよう、直接情報を受けた者が、他職員に伝え、情報を共有する手段として、連絡ノートや夕朝礼などを活用しました。</p> <p>④ 一歩先を見た支援を心掛けることは、利用者の身体状況や行動パターンを考えながら支援を行うこととなり、利用者をより知ることにつながり、処遇向上に繋がりました。</p> <p>⑤ ヒヤリハットを率先して報告することが、大きな事故を未然に防ぐことにつながる。と考えることが不十分で、その都度、報告書を作成するまでには至りませんでした。上記の目的を再確認し、指示される前に自らが率先して早急に報告をする実行力が課題です。</p>												
<p>(5) 選択できるアクティビティと年間行事計画</p>	<p>① スタンプラリーを活用し、自らが目標に立てた項目を終了した際はスタンプを押し、それを積み重ねることでモチベーションを高める工夫をしながら利用者の自主的な活動に繋がりました。今後の課題は、スタンプラリーの成果がでているのか評価していくことと、モチベーションを維持するため、行ったことに対する利用者への還元（プレゼント等）を実施していくことです。</p> <p>② ゆったりとした、余裕のある外出がしたいとの希望があり、外食をして、買い物や見物を楽しむ季節の外出（春・秋）を行いました。</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%;">（春）パサール三芳</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 40%;">川越蔵里</td> </tr> <tr> <td>大宮花の丘公苑</td> <td style="text-align: center;">+</td> <td>喜多院</td> </tr> <tr> <td>はま寿司</td> <td></td> <td>イオンモール</td> </tr> <tr> <td>（秋）サイボクハム</td> <td></td> <td>J Aアグレッッシュ</td> </tr> </table> <p>③ 1年を通して、1人や数人での個別外出も行いました。まだまだ、利用者のご希望に応えられないこともあり、その時の都合に左右されない計画的な実行力が課題です。</p> <p>・鰻屋・ららぽーと・イオンモール・靴屋・J Aアグレッッシュ</p>	（春）パサール三芳		川越蔵里	大宮花の丘公苑	+	喜多院	はま寿司		イオンモール	（秋）サイボクハム		J Aアグレッッシュ
（春）パサール三芳		川越蔵里											
大宮花の丘公苑	+	喜多院											
はま寿司		イオンモール											
（秋）サイボクハム		J Aアグレッッシュ											

	<ul style="list-style-type: none"> ・与野公園バラ園・ふじみ野ソヨカ・伊佐沼公園 ④ 季節の行事やボランティアを通して、懐かしい思い出話や歌や踊りと、笑いのある楽しい時間を共有し、気分転換ができました。 ・びん沼桜花見・長寿を祝い会・クリスマス・もちつき会・節分 ・花咲比呂子歌謡ショー・花クラブ・うづき会・オカリナ・ハーモニカ ・ほがらか歌仲間・折り紙・大人の折り紙・ハッピーガールズ・笑いヨガ ・絵手紙・習字（12団体 延べ実施回数：333回）
--	---

ヘルパーステーション

重点目標及び課題	成果等
(1) 稼働率の維持・向上のための取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ① 3月末時点での月の延べ回数が平均 346 回となり、年度末時点で目標達成となりました。キャンセルは年間で 308 回ありましたが、利用数の増加と比例して、キャンセルの回数が増えるのは必然だと考えます。今年度も利用者の入れ替わりが多かったのですが、居宅事業所の協力により新規利用者が増えたことで結果的に目標達成が出来ました。 ② 実績は必ず居宅事業所を訪問し、信頼獲得を目指しました。 ③ 利用者の状態に関して、密に連絡・報告・相談を行い、居宅事業所と連携を取りながらサービス提供に努めました。 ④ 手作りで季節の押し花色紙にメッセージを記入しとても好評でした。
(2) 苦情・相談対応	<ul style="list-style-type: none"> ① 職員間において必要のある情報は申し送りノートに必ず記載し周知すると共に訪問担当者にも直接伝えました。 ② 相談や軽い苦情に関しても早急に連絡をとった結果、大きなクレームに繋がる事はありませんでした。
(3) 職員の資質向上の取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ① 個人別の技術指導は密に行えましたが、事業所全体で開催する事がなかなか難しく不定期な開催となってしまった為、引き続き次年度への課題と考えています。 ② 訪問担当者が利用者をどの程度理解出来ているのか、理解した上での助言や会話が出来ているのかなどを確認しながらサービス提供を行い、同利用者を担当する職員間で情報交換を行いました。 ③ ケアプランは利用者宅の見やすい場所に保管し、サービスを提供する上で各自再確認を行いました。自立支援に着目し、利用者本人が生活する上で必要な残存機能を活用しながらサービス提供しました。 ④ 挨拶や声掛けをしっかりと行い、利用者との関係がより深くなっても丁寧な言葉遣いで会話する事を徹底しました。 ⑤ まず、担当している利用者の既往や服薬内容をしっかりと把握し、想定される病状等を把握するように指導しました。

<p>(4) リスクマネジメントの重要性</p>	<p>⑥ 利用者の自宅で暮らしていきたいという気持ちを大切に、自立支援を念頭におきながら、利用者を支える家族の介護負担を少しでも軽減できるように、適宜必要な助言を行いました。</p> <p>⑦ 業務に支障が出ない限りで各自研修に参加することが出来ました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問介護員のための食と栄養研修1名（H27年5月） ・腰痛防止の為の介護方法1名（H27年10月） ・女性リーダー研修会1名（H27年12月） ・その他、内部研修や認知症サポーター研修全員参加や個人の実務者研修等。 <p>① 利用者の変化について、誰が読んでも状況がわかりやすく、ケアマネジャーに報告しやすいように実施記録に記入することが出来ました。利用者の変化については必ず報告しました。</p> <p>② 緊急時に限らず、普段と違う状況だった場合は必ず連絡を入れるように全職員に伝えました。連絡が入った際には対応をしっかりと伝えて指示通りにサービスを提供してもらいましたが、たまに指示が上手く伝わらない事もあった為、お互いに意思の疎通が来ているかをしっかりと確認するように努めました。</p> <p>③ 備品の取り扱いには十分注意して業務に入りましたが、経年劣化の為、やむを得ない物も多く数回は使用中に破損してしまった事がありました。その際には真摯な謝罪と話し合いにて解決しました。</p>
--------------------------	---

居宅介護支援事業

重点目標及び課題	成果等
<p>(1) 稼働率の維持・向上の取り組み</p>	<p>① 年間プラン作成率は平均86.8%と目標の75%を達成することができました。4,5月は新任ケアマネの受け持ち件数をセーブしたこともあり、平均80%を下回る作成率でしたが、無理なく育て教育するという方針で指導し、現時点では受け持ち件数上限いっぱい持てるまでになりました。</p> <p>② 入院の理由を考慮して在宅復帰できる予定の利用者については、期間を区切らないようにするなど臨機応変な対応を行い、復帰後、感謝されることもありました。</p> <p>③ 包括からの紹介は、本体包括以外からはあまりありませんでした。各包括は報連相・緊急な対応がスムーズに行えるなど地域性を考慮した圏域内にある居宅支援事業所に紹介するケースが多いためだと考えられます。</p> <p>④ 今年度は5件ほど急な相談やケアマネ依頼があり、すべての案件について支援センターむさしのでケアマネジメントを実施することができました。</p>
<p>(2) 事業所内の連携</p>	<p>① 担当が不在の場合でも、他の職員が変わりに調整や相談が行えるように努</p>

<p>(3) 相談・苦情の援助体制</p>	<p>めました。担当以外分かりかねる内容については、連絡・確認をとるようにしてスムーズに対応することができました。</p> <p>② 毎月の会議で担当利用者の近況報告を各ケアマネが行い、事業所全体で動きのある利用者の周知に努めました。</p> <p>① 今年度については直接自事業所への苦情はありませんでしたが、介護サービス事業所についての苦情については、事業所と家族の間にたって中立の立場で対応しました。あるケースについては、話し合いの場を設け、お互い納得する形で解決することができました。</p> <p>② 苦情・相談記録については、支援経過記録にありのままを残すようにしました。場合によっては記録が大切な証拠になるため、トラブルなどの事案は細かく記録に残すように努めました。</p>
<p>(4) 従業員の育成</p>	<p>① ケアマネとして自信がもてるまで、一連の業務に先輩ケアマネが同行してサポートしました。指導方法は実際に経験して学んでもらうということでOJTを基本に育成しました。</p> <p>② 今年度は下記の外部研修に参加して自己研鑽しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護予防ケアマネジメント研修（H28年11月）1名 ・介護支援専門員レベルアップ研修（H27年7月）2名 ・介護支援専門員更新研修（H27年8月～1月 計8回）1名 ・看取りの現状とケアマネジャーとしての関わり（H28年2月）1名 ・地域包括主催ケアマネ研修会（H27年6月）4名 ・ケアマネ連絡会主催研修会（H27年5月・9月・11月、H28年2月）4名
<p>(5) 在宅生活を支えるための支援</p>	<p>① 初回アセスメントにて課題抽出に努めましたが、表に見えづらい隠された課題（利用者・家族が内に秘めていること・気持ちと言葉がうらはら）は、後になってわかるようなこともありました。</p> <p>② 介護保険サービスの調整が主になり、インフォーマルサービスを紹介することは正直あまりなかったと思います。介護サービスや通院以外は中々外出する機会がない利用者も多いため、意思を確認しながらインフォーマルサービスを紹介していくことも今後必要だと思います。</p> <p>③ 自立支援型ケアプラン作成については、今年度もサービス利用が中心のケアプラン作成に偏ってしまいました。ただ、以前に比べて少しずつではありますが、本人・家族が生活の中でできること・関われることをプランに入れられるようになりました。</p> <p>④ 利用者が生活する上で困難な課題が上がった際は、必ずサービス担当者を招集し、会議を開催できるようになりました。</p>

地域包括支援センター

重点目標及び課題	成果等											
<p>(1) 総合相談・支援事業</p>	<p>① 総合相談への対応</p> <p>総合相談件数は3183件となり、内訳としては、訪問1346件、電話1731件、来所106件となりました。当センターは、担当圏域の端に位置しているため、来所件数としては南畑町会が多く、他町会へは、訪問を主に相談対応を行いました。多様な地域特性と同様、地域によっての当事者等のニーズや利用意向は様々で、関係機関や関係者へ誠実な対応や、丁寧な経過報告を行い、相談機関としての信頼を確実にしていくことも継続しました。実態把握は、469件（総合相談件数に含む）と、地域把握と高齢者把握に努めました。広域のため町会によっては、隣から隣へと訪問していくようなローラー的なことはできませんでしたが、前年度年間実績の242件を大きく上回りました。</p> <p>② 地域支援とネットワーク構築</p> <p>27年1月に厚生労働省等で策定された「認知症施策推進総合戦略～認知症高齢者にやさしい地域づくりに向けて～」(新オレンジプラン)を推進していくための一つとして、認知症の人や家族が地域住民や専門家と情報共有し、相互理解する「オレンジカフェむさしのびん茶房」を老人福祉センターにて26名の参加と2名の一般ボランティアにより開催しました。オレンジカフェは、実施形態や内容については、全国各地で様々なものがあり、今後も検討を重ねながら、地域包括ケアの中核としてのセンターの使命を達成できるように努めます。</p> <p>近年、認知症による徘徊やそれに伴う事故も話題になり、地域での認知症への理解が必要となります。本年度も、認知症サポーター講座を4回開催（144人のサポーター養成）し、認知症への普及啓発を継続し、地域における支援体制の構築を図りました。</p> <p>地域ケア会議では、圏域会議を3回開催し、地域課題の把握やネットワークの構築を行いました。個別会議は2回開催し、介護支援専門員が担当する要介護者の自立支援の検討を通じてネットワーク構築を行いました。</p> <table border="1" data-bbox="470 1675 1385 2020"> <thead> <tr> <th>実施項目</th> <th>実施回数</th> <th>実施内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">地域ケア会議</td> <td>3回</td> <td>5月、6月、11月 圏域会議</td> </tr> <tr> <td>2回</td> <td>11月 個別会議</td> </tr> <tr> <td>情報・意見交換会 他機関会議出席等</td> <td></td> <td>5月、7月 南畑・水谷民生委員協議会 5月、7月、10月、11月 南畑地区社会福祉協議会</td> </tr> </tbody> </table>	実施項目	実施回数	実施内容	地域ケア会議	3回	5月、6月、11月 圏域会議	2回	11月 個別会議	情報・意見交換会 他機関会議出席等		5月、7月 南畑・水谷民生委員協議会 5月、7月、10月、11月 南畑地区社会福祉協議会
実施項目	実施回数	実施内容										
地域ケア会議	3回	5月、6月、11月 圏域会議										
	2回	11月 個別会議										
情報・意見交換会 他機関会議出席等		5月、7月 南畑・水谷民生委員協議会 5月、7月、10月、11月 南畑地区社会福祉協議会										

		6月、7月、8月 勝瀬 de 縁日実行委員会 7月～9月 ふれあいサロンミニサミット世話人会・開催日 6月、11月 成年後見実務者会 9月 勝瀬民生委員協議会 11月、12月、1月、3月 ふじみ野文化祭実行委員会 12月 南畑公民館利用者の会 1月 南畑新春交流会 2月、3月 南畑ふるさと祭実行委員会 3月 ふるさと祭30周年記念式典	
介護者サロン 「窓陽」	年 12 回	第 3 金曜 ふじみ野交流センター	
認知症サポーター 養成講座	4 回実施 参加者 144名	11月 地域住民 38名 11月 勝瀬民生委員協議会 32名 12月 渡戸3丁目町会 28名 1月 渡戸東町会 46名	
介護者教室	2 回開催 参加者 計 78 名	11 月 「うごいてのばして腰痛解消」(26名) 11 月 「楽しくいきいきパドル体操」(52名)	
オレンジカフェ	3 月開催 参加者 26 名	「オレンジカフェ むさしの びん沼茶房」 老人福祉センター 一般ボランティア協力 2 名	
<p>③ 出前相談会・出前講座等の実施</p> <p>出前講座・介護予防講座は、年間 16 回開催（参加者 728 人）し、包括業務の周知並びに介護予防を始め消費者被害等の情報提供を実施し、地域で顔の見える関係づくりを行いました。</p> <p>南畑地区社会福祉協議会と連携した「南畑健康講座」は、27年度で4年目を迎え、2部構成で「認知症～みんなに知っておいてほしいこと」「脳いきいき習慣～今日からできる認知症予防」を全 5 町会にて開催し、</p>			

139人の参加を得ました。地域の要望に応え、定着化を図ることで、保健医療・福祉の啓発を行いました。

実施項目	実施回数	実施内容
出前講座 (介護予防講座)	年16回実施 728名参加 (内介護予防講座10回実施) [内容] 介護予防 介護保険制度 地域包括の話 認知症の予防 消費者被害 交通安全 季節の健康等	4月 ふれあいサロンひろば(渡戸) 渡戸3丁目サロン 5月 勝瀬地区社協総会 勝瀬地区社協生活部会 6月 渡戸3丁目町会 7月 サロンはるな 羽沢1丁目サロン 8月 渡戸喜楽会 9月 渡戸東町会敬老会 南畑若松会 羽沢2丁目町会 11月 ころばんクラブ 2月 ふじみ野ふれあいサロン、渡戸第2ふれあいサロン、渡戸3丁目サロン 3月 羽沢1丁目サロン
出前相談会	年6日間実施	4月 菜の花フェスタ(1日) 9月 勝瀬 de 縁日(1日) 3月 ふじみ野文化祭(2日) 3月 南畑ふるさとまつり(2日)
南畑健康講座 南畑全5町会	5回実施 参加者 139名	第1部「認知症～みんなに知っておいてほしいこと」 第2部「脳いきいき習慣～今日からできる体と頭を使って認知症予防」

(2) 介護予防事業対象者に対する介護予防マネジメント

- ① 予防給付対象者へのケアプラン作成、支援
自プラン、委託プランの給付管理数としては、年度初めの4月は70件が、年度末3月には81件と増加。サービス利用までに至る支援が難航するケースが増えました。
- ② 二次予防事業対象者の把握・支援
生活機能低下を防ぎ自立した生活への契機となるよう、市からの依頼の100名以上の候補対象者を訪問しました。丁寧に趣旨や効果を説明した結果、参加者は26年度の3倍以上の36名と大幅増となりました。地域で対象者を見つけ二次予防事業へ繋ぐ対象者把握は、11名となり

<p>(3) 権利擁護業務</p>	<p>ました。</p> <p>① 高齢者虐待への対応 相談（虐待）件数(述べ)は208件。前年度末の相談（虐待）件数（述べ）は123件、相談件数総数は増加傾向です。長年の継続ケースが多く、現在まで継続して対応を実施。同じ家族や本人から毎日決まったように電話が入り誠実に対応し、延人数として増加しました。</p> <p>② 消費者被害防止 相談（消費者被害）件数3件と、前年度の相談（消費者被害）件数14件に比べ、相談件数総数は減少傾向にあります。各サロンや出前講座、介護予防講座、介護者教室などでの啓発活動を継続実施。出前講座などで聴取した際には、不審な電話や訪問が見受けられ、今後も啓発活動は必要と思います。</p> <p>③ 成年後見制度 相談件数（述べ）47件。前年度は相談件数（述べ）10件。前年度より相談自体は増加傾向にあります。</p> <p>権利擁護に関わる相談</p> <table border="1" data-bbox="523 1003 1262 1249"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>実人数</th> <th>延人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成年後見</td> <td>8</td> <td>47</td> </tr> <tr> <td>消費者被害</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>虐待</td> <td>17</td> <td>208</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>28</td> <td>258</td> </tr> </tbody> </table>	区分	実人数	延人数	成年後見	8	47	消費者被害	3	3	虐待	17	208	計	28	258				
区分	実人数	延人数																		
成年後見	8	47																		
消費者被害	3	3																		
虐待	17	208																		
計	28	258																		
<p>(4) 包括的・継続的マネジメント事業</p>	<p>① ケアマネジャーへの支援 ケアマネジャーへは、年間延べ136件の後方支援を行い、担当者会議へは12回出席しました。ケアマネ研修会は、県担当職員を講師に招き「生活困窮者自立支援制度」について3包括合同開催し、市内外から57名の参加を得ました。</p> <table border="1" data-bbox="491 1541 1350 1641"> <tr> <td>ケアマネジャー研修会</td> <td>1回開催 10月</td> <td>「生活困窮者自立支援制について理解を深める」</td> </tr> </table> <p>居宅介護支援事業所への紹介斡旋</p> <table border="1" data-bbox="483 1686 1350 1888"> <thead> <tr> <th>居宅介護支援事業所</th> <th>要介護・要支援</th> <th>前年度</th> <th>前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>支援センターむさしの</td> <td>36（ひだまり含む）</td> <td>38</td> <td>-2</td> </tr> <tr> <td>他事業所</td> <td>84</td> <td>59</td> <td>+25</td> </tr> <tr> <td></td> <td>120</td> <td>97</td> <td>+23</td> </tr> </tbody> </table>	ケアマネジャー研修会	1回開催 10月	「生活困窮者自立支援制について理解を深める」	居宅介護支援事業所	要介護・要支援	前年度	前年度比	支援センターむさしの	36（ひだまり含む）	38	-2	他事業所	84	59	+25		120	97	+23
ケアマネジャー研修会	1回開催 10月	「生活困窮者自立支援制について理解を深める」																		
居宅介護支援事業所	要介護・要支援	前年度	前年度比																	
支援センターむさしの	36（ひだまり含む）	38	-2																	
他事業所	84	59	+25																	
	120	97	+23																	
<p>(5) 地域への貢献</p>	<p>① 地域行事への参加および協力 地区社会福祉協議会事業や町会行事を中心に年間12回、積極的に地域</p>																			

(6) その他	<p>へ赴きました。高齢者や家族、住民と交流し、職員が相談対応だけでなく継続的な関わりを持つことで、地域把握や地域の施設理解への一助となりました。</p>				
	<table border="1"> <tr> <td>地域行事への協力</td> <td>要請に応じ随時対応</td> <td>環境美化運動、体育祭、公民館利用者の会、敬老会、合同防災訓練等</td> </tr> </table>	地域行事への協力	要請に応じ随時対応	環境美化運動、体育祭、公民館利用者の会、敬老会、合同防災訓練等	
地域行事への協力	要請に応じ随時対応	環境美化運動、体育祭、公民館利用者の会、敬老会、合同防災訓練等			
	<p>① チームワークを意識した職員体制づくりのために職員体制が、人事異動等で一新されましたが、各職員の専門性と個別性を生かし、連携協働のもと事業に反映できるようにしましたが、定着化に課題が残りました。今後も専門性を高める意識を高く持ち、知識向上のための研修に参加し、人と人をつなぐことを念頭に研修に臨みました。</p> <p>② 個人情報管理 他機関への情報提供時は、慎重に行いました。法令を遵守し、情報の扱いや管理は厳重管理し、各職員が意識を持って臨みました。</p> <p>③ 危機管理 各職員の役割や他機関との連携について共通理解を図ることを継続し、独居や高齢者世帯など、市の緊急連絡カードを有効利用するために、個別配布も意識しながら訪問等しました。緊急連絡カード配布は24人に配布しました。</p>				

平成27年度 高齢者あんしん相談センターむさしの 活動実績報告

総合 相談 支援	総合相 談	訪問	1346件
		電話	1731件
		来所	106件
	高齢者実態把握訪問（再掲）	469件	
	出前講座	16回（内介護予防講座10回）728人（内同左講座386名）	
	出張相談会	6回 197人（相談16人、血圧等測定197人）	
	地域ケア会議	5回（圏域会議3回、個別会議2回）	
関係機関 との連携	会議出席	17回（除く認知症地域推進員会議3回、包括連会議12回）	
	周知活動	8回	
権利擁護（再掲）	虐待	208件	
	成年後見	47件	
	消費者被害	3件	
包括的・継続的ケ アマネジメント	ケアマネジャー 研修会	1回（57名） 「生活困窮者自立支援制度への理解を深める」	
	担当者会議出席	12回	
	ケアマネジャーからの 相談など	136件	
見守りネットワ ーク普及活動	訪問活動件数	39回	
	承諾事業所数	50（事業所17件、個人33）	
二次予防事業 ケアマネジメント	訪問・電話	378件	
	ケアマネジメント	36人 延46件	
予 防 給 付	包括	給付管理数(延数)	346件
		実人数	34人
	委託	給付管理数(延数)	511件
		実人数	81人
介 護 者 支援	介護者教室	2回 78人	
	介護者サロン支援	12回	
認知症サポーター養成講座		4回 144人	
その他（事業内容もご記入ください）		・南畑健康講座（全5町会で開催 参加者139人） 第1部「認知症～みんなに知っておいてほしいこと」 第2部「脳イいきいき習慣～今日からできる認知症予防」	

	<ul style="list-style-type: none"> ・オレンジカフェ むさしの「びん沼茶房」 1回開催 ・コバトンお達者倶楽部カード配布 965枚 ・交通安全アドバイス 33回 984人
地域行事などへの協力	12回（地区社協環境浄化運動、合同防災訓練、地区敬老会等）

配食サービス

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) 在宅生活を支える事業としての構築	<ul style="list-style-type: none"> ① むさしの配食と利用者・家族の食に対するニーズがマッチングした時は情報提供し、お試して試食を提供する試みを継続して行いました。 ② 利用者・家族からの配食に対する率直な意見を参考にして、サービス提供するように努めました。
(2) 地域社会への配食事業の宣伝・広告	<ul style="list-style-type: none"> ① デイ・ヘルパーの実績配布の際、配食サービスの宣伝を行うことができました。 ② 居宅介護支援事業所や高齢者あんしん相談センターにパンフレットを配布し、事業周知に努めました。

5 地域支援課

総合目標及び課題

- ・質の高い事業運営を行うための体制作りを継続します。
- ・職員間の連携の強化と連携を生かした支援を提供します。
- ・地域との交流機会を増やすイベントや活動の実施。

小規模多機能型居宅介護

重点目標及び課題	成果等																													
(1) 稼働率の維持・向上のための取り組み	<p>① 今年度も入所や長期入院による支援終了者が多く、目標としていた稼働率96.2%に対し91.7%と達成には至らなかったが、新規利用者も多く受け入れることができたため、大幅な稼働率の減少を防ぐことができた。</p> <p>② 11月1日に定員を22名に引き上げました。</p>																													
(2) 余暇活動のプログラム化	<p>① 時間を決めて行うことは出来なかったが、1日の中で短時間でもレクを実施することができました。</p> <p>② 必要物品の購入やマニュアル作成までにて至りませんでした。</p>																													
(3) 利用者ごとの訪問内容の共有	<p>① 訪問内容については個別に書式化し作成することができたが、一覧化するまでは出来ず、今後はどのような形が適しているか再度検討します。</p>																													
(4) 職員間の連携の強化	<p>① 引継ぎノート以外にも職員間の声掛けを多く行うことで、情報の共有ができました。</p> <p>② 月1回の会議にて、個々の利用者の処遇について意見を出し合い、より良い支援について検討し、対応方法を統一できました。</p>																													
(5) 年間計画	<p>年間計画の通り実施することができました。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>実施月</th> <th>予定</th> <th>実施予定日</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月</td> <td>花見</td> <td>4月4日(土)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">5月</td> <td>端午の節句</td> <td>5月5日(火)</td> </tr> <tr> <td>ひだまりホームパーティー(家族参加)</td> <td>5月30日(土)</td> </tr> <tr> <td>6月</td> <td>運動会</td> <td>6月23日(火)</td> </tr> <tr> <td>7月</td> <td>七夕</td> <td>7月7日(火)</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>花火</td> <td>8月7日(金)</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>星空シアター</td> <td>9月5日(土)</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>日帰り旅行(芋掘り)</td> <td>10月17日(土)</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>紅葉狩り</td> <td>11月27日(金)</td> </tr> </tbody> </table>	実施月	予定	実施予定日	4月	花見	4月4日(土)	5月	端午の節句	5月5日(火)	ひだまりホームパーティー(家族参加)	5月30日(土)	6月	運動会	6月23日(火)	7月	七夕	7月7日(火)	8月	花火	8月7日(金)	9月	星空シアター	9月5日(土)	10月	日帰り旅行(芋掘り)	10月17日(土)	11月	紅葉狩り	11月27日(金)
実施月	予定	実施予定日																												
4月	花見	4月4日(土)																												
5月	端午の節句	5月5日(火)																												
	ひだまりホームパーティー(家族参加)	5月30日(土)																												
6月	運動会	6月23日(火)																												
7月	七夕	7月7日(火)																												
8月	花火	8月7日(金)																												
9月	星空シアター	9月5日(土)																												
10月	日帰り旅行(芋掘り)	10月17日(土)																												
11月	紅葉狩り	11月27日(金)																												

			11月30日(月)
12月	冬至(ゆず湯)		12月第4週
	餅つき(家族参加)		12月13日(土)
	クリスマス		12月25日(金)
1月	新年会(家族参加)		1月11日(日)
2月	節分		2月3日(水)
3月	雛祭り		3月3日(木)

地域密着型特別養護老人ホーム

介護

重点目標及び課題	具体的取組み
(1) ユニットケアとは何かを理解する	① ユニットケアについての基本的な考え方を周知するための内部研修は実施できなかった。新入職の方に対して、入職時に実施するユニットケア研修は毎回実施することができました。会議内の検討事項として、ユニットケアの考え方に触れることはあったが、全職員が理解し、共通認識のもと業務を行うという点については課題が残る結果となりました。
(2) 24Hシート作成・導入に向けて	① ①②各ユニット対応一覧表は作成することができました。しかし、作成することに留まり、今後いかに活用していくかが課題として残りました。新規入居者については、対応した職員が自由に書き込みできるように白紙のシートを用意し、職員間で閲覧・情報共有に努めました。対応の変更点などを対応一覧表に反映させることに遅れができました。
(3) クラブ活動の定期開催	① 書道クラブについては毎月または2か月に1回、定期的に開催することができました。カラオケクラブは具体的な活動をしまんでした。アレンジメントクラブについては、担当していた職員が退職したため、今後の活動について、別のクラブ活動を含め検討の必要があります。
(4) 各ユニットでの意識強化	① 毎月ユニット会議を開催することが困難な職員状況であったため、不定期での開催となりました。開催時には意見交換をする場にまりましたが、発言者には偏りがあるため、今後は自由に意見がでるような会議の雰囲気づくりや会議の進行に努力します。 ② ユニット担当職員同士では、コミュニケーションを図る機会は増加し、少しずつではあるが、ユニットの意識付けをすることができました。職員同士の関係が良好になると言葉や態度の乱れにつながるデメリットもでてくるため、今後も馴れ合いではなくプロとしての関係が築けるようにします。上半期は毎月ユニットミーティングの時間を設けることができました。入居者処遇やユニット行事など、リーダー中心に自分たち

で考えるという点で良い機会になりました。今後は、指示がなくても定期的に実施して、入居者の要望実現やユニット担当職員間での絆を深めます。

実施月	予定	実施予定日
4月	花見	4月7日(火)
5月	端午の節句	5月5日(火)
	ひだまりホームパーティー(家族参加)	5月30日(土)
6月	運動会	6月23日(火)
7月	七夕	7月7日(火)
8月	花火	8月6日(木)、7日(金)
8月	流しそうめん	8月24日(月)、25日(火)、28日(金)
9月	星空シアター	9月5日(土)
10月	日帰り旅行(サンシャイン、ららぽーと、三芳そばの里)	10月23日(金)、8日(木)、23日(金)
11月	居酒屋	11月6日(金)
12月	冬至	12月第4週
	餅つき(家族参加)	12月12日(土)
	クリスマス	12月25日(金)
1月	新年会(家族参加)	1月10日(日)
2月	節分	2月3日(水)
3月	雛祭り	3月3日(木)

看護

重点目標及び課題	成果等
(1) 入居者の健康管理	① 身近で接する機会が多く、介護職からの報告も受けやすいという利点から、入居者の状態変化に早めに対応をすることで重症化を防ぐことができました。
(2) 他職種との連携	① 他職種との情報の共有に努め、お互いに情報交換をしながら動くことができました。 ② 朝礼や夕礼で情報の共有を行い、介護職と連携してケアに当たることができましたが、伝達が全体にいきわたり継続していくための工夫と努力

(3) 医務研修の継続	<p>が必要と感じました。</p> <p>① 新入職員に医務研修を行いました。内容は引き継がれたものを使ったが、今後必要と考える項目を追加していきます。また、衛生委員と連携して褥瘡やノロウイルスの研修ができました。今後も協力してケアに役立つ研修にします。</p>
-------------	---

相談

重点目標及び課題	成果等																																																						
(1) 稼働率を意識した入所調整	<p>① 入居者7件、退居者7件で退所者による空床期間は74日。入院者は延べ10名で入院者による空床期間は211日で合計すると年間の空床期間は285日となった。空床期間の活用はショートステイ利用者が3名で11日間の利用となり、前年度の利用数を上回りました。前年度と比較すると空床日数差が45日間減少となったが、年間稼働率は97.3%で目標を下回りました。</p> <table border="1" data-bbox="486 913 1412 1518"> <thead> <tr> <th>退居者</th> <th>退居年月日</th> <th>理由</th> <th>入居者</th> <th>入居年月日</th> <th>空床期間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>H27.4.24</td> <td>永眠（看取り）</td> <td>1</td> <td>H27.5.4</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>H27.5.7</td> <td>永眠</td> <td>2</td> <td>H27.5.20</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>H27.5.28</td> <td>永眠（看取り）</td> <td>3</td> <td>H27.6.12</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>H27.6.9</td> <td>永眠</td> <td>4</td> <td>H27.6.26</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>H27.11.19</td> <td>永眠（看取り）</td> <td>5</td> <td>H27.11.29</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>H27.12.25</td> <td>生存退所</td> <td>6</td> <td>H27.12.26</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>H28.3.10</td> <td>永眠（看取り）</td> <td>7</td> <td>H28.3.25</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td colspan="2">退居者総数7名</td> <td colspan="2">入居者総数7名</td> <td colspan="2">空床期間 74日間</td> </tr> </tbody> </table>	退居者	退居年月日	理由	入居者	入居年月日	空床期間	1	H27.4.24	永眠（看取り）	1	H27.5.4	9	2	H27.5.7	永眠	2	H27.5.20	12	3	H27.5.28	永眠（看取り）	3	H27.6.12	14	4	H27.6.9	永眠	4	H27.6.26	16	5	H27.11.19	永眠（看取り）	5	H27.11.29	9	6	H27.12.25	生存退所	6	H27.12.26	0	7	H28.3.10	永眠（看取り）	7	H28.3.25	14	退居者総数7名		入居者総数7名		空床期間 74日間	
退居者	退居年月日	理由	入居者	入居年月日	空床期間																																																		
1	H27.4.24	永眠（看取り）	1	H27.5.4	9																																																		
2	H27.5.7	永眠	2	H27.5.20	12																																																		
3	H27.5.28	永眠（看取り）	3	H27.6.12	14																																																		
4	H27.6.9	永眠	4	H27.6.26	16																																																		
5	H27.11.19	永眠（看取り）	5	H27.11.29	9																																																		
6	H27.12.25	生存退所	6	H27.12.26	0																																																		
7	H28.3.10	永眠（看取り）	7	H28.3.25	14																																																		
退居者総数7名		入居者総数7名		空床期間 74日間																																																			
(2) 緊急時の連絡体制の構築	<p>① 急変時の連絡体制を整備し、看取り介護実施中では職員一人ひとりに連絡方法を確認する事で迷う事なく、落ち着いて対応出来る職員も増えてある程度の成果を残せました。今後の課題としては新入職員への引き継ぎや急変時の対応は引き続き継続して検討していく必要があると感じました。</p>																																																						
(3) 地域との連携・交流	<p>① 7～9月に地区夏祭り、9～10月に地区敬老会に入居者・家族と一緒に参加。夏祭りは5ヶ所で入居者19名、家族8名、ボランティア8名（外出時、付き添い）が参加。敬老会は8ヶ所で入居者8名、家族3</p>																																																						

名、ボランティア1名が参加。参加する事で地域の方との交流や施設を知ってもらい良い機会になりました。

11月21日(土)に地域防災訓練を水谷第1町会と地域住民の方約10数名と合同で開催。消防署署員を招いて消火訓練、地震体験を実施しました。

定期ボランティアの活動は年間170回、延べ312名となり、回数については昨年より、13回多くなり、積極的に新規受入も実施しました。

<平成27年度ボランティア活動 回数・延べ人数>

クラブ名	活動回数(回)	延べ人数(名)
生活支援 島貫氏	50回	50人
生活支援 黒田氏	45回	45人
生活支援 鈴木氏	9回	9人
傾聴ボランティア	30回	30人
邑水会	9回	43人
お茶クラブ	3回	10人
フランドンス	2回	14人
うづき会	2回	22人
花子の会	4回	15人
ハーモニカ	4回	36人
富士政会	1回	2人
大正琴 ※新規	1回	9人
みずほ和太鼓 ※新規	1回	12人
紙芝居 ※新規	1回	1人
地区 夏祭り	3回	9人
地区 敬老会	1回	1人
学生	4回	4人
合計	170回	312名

リハビリ

重点目標及び課題	成果等
(1) チームケアの質の向上	① 一年を通してみると、介護職員からの声は少なかったが、下半期以降、介護業務の中にリハビリを取り入れ、実施できました。結果、利用者様の生活改善に繋がり、少しずつではあるがチームケアとして形成されてきました。

サービス向上委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 会議での決定事項の周知の強化	① 分かりやすい表示やまた口頭でも伝達を行った事により、本年度は周知することができました。今後も職員全体に行きわたる様継続していきます。
(2) 行事・催し等の計画、起案作成	① 昨年度行事以外の催し物として、8月に花火行事、11月に居酒屋行事を実施し、入居者からは好評を得ることができました。来年度も継続して実施します。
(3) マニュアルの作成と見直し	① 食事・入浴マニュアルの見直しを行い、新たに作成することができましたが、職員が活用することが少なかったため、来年度は職員に浸透していくよう活用の仕方についても考えます。

衛生委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 感染症対策の見直し・職員の完全周知化	① 感染症の見直しを看護師と連携し必需品から嘔吐処理の仕方を考えてきました。全職員に周知してもらうため、研修を数回に分けて実施し教える事ができました。時間の都合上、職員全員が処理方法を研修内で実践することはできなかったので今後の課題が残りました。
(2) 褥瘡予防の研修	① 多くの職員が研修に参加することができました。研修内容としては実際に施設内で起きた褥瘡発生例を資料にしたことで注意点を認識することができました。今回、看護師との連携で研修を実施したが、今後はリハなど多職種との連携とり、より具体的な研修を行えるようにします。

事故発生防止委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 事故の周知・確認	① 事故状況の把握時点での対応として、転倒・転落などの事故発生時バイタル測定や検温といった固定の動作が出来ていない場合が多々見られたが、周知により改善された。同じ利用者による繰り返しの事故発生について有効な対策が立てられなかったケースもあったため、課題として残りました。
(2) 危険予知訓練・連携の実施	① 事故発生防止委員会、委員会職員と事故発生後発見職員間での意見交換、早期対策を行うことができました。今後は危険訓練や参加職員を増やしての話し合いの機会を作っていきます。

(3) 身体拘束会議の開催	① 身体拘束会議を2か月に一回開催し、他職種協働のもと言葉の拘束（スピーチロック）についての活動を円滑に、進める事ができました。
---------------	--

整容委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 車椅子清掃の実施	① 行事等の前の車椅子清掃は出来たが、定期的な車椅子清掃までにて至りませんでした。定期的な清掃の実施が課題として残りました。
(2) リネン庫の物品発注	① リネン庫の物品発注はノートを使用することによって不足することを減少できました。しかし、在庫状況と発注から納品までの期間のずれがあることによる不足があり、今後は納品時期を見越した報告のための管理を実施していきます。
(3) 居室の清潔保持	① 居室・洗面台・トイレの清掃について汚れが目立つ状況であり、委員会として会議や引継ぎノートを活用したより細やかな周知が課題として残りました。

排泄委員会

重点目標及び課題	成果等
(1) 排泄ケアの統一・周知	① 新しい職員をメインに、業者アドバイザーの研修を実施しました。しかし新しい職員だけではなく、職員全員が参加し、再度排泄ケアの技術向上に努めていくことが新たな課題として上がりました。 ② 夏と冬の年2回の尿測にて、入居者一人ひとりの排泄パターンや排泄アイテムを把握することができました。しかしアイテムや誘導時間の変更を行った際に、変更後の時間に誘導できていなかったり、違うアイテムが当たっていたりと、十分な周知が出来ませんでした。排泄ケアの統一・周知については、継続して課題となりました。
(2) オムツ・パッド類の在庫管理・整理整頓	① オムツ・パッド類の整理整頓はこまめに行うことができました。しかし使用量と見込みのずれからパッド・オムツ類が不足してしまう事が起きてしまったため、来年度は不足の起きないように管理をしていきます。
(3) 排泄介助の統一による褥瘡の予防	① 勉強会については実施することができませんでした。排泄ケアの統一が十分とは言えず、数名の入居者の方の皮膚状態の改善が思うような形で結果として表れませんでした。

居宅介護支援事業

重点目標及び課題	成果等
(1) 稼働率の維持・向上の取り組み	① 新規利用者の獲得が振るわず、1年間のうち8か月間は目標稼働率88%を下回りました。
(2) ケアマネジメント業務	<p>① 支援会議は毎月1回行いました。居宅サービス計画の事例検討でなく個々の担当ケースの近況報告の場という意味合いが強くなりました。</p> <p>② 希望する研修参加は申し込んだが、希望者が多数で抽選で落選することがありました。また、困難事例についての2名体制での対応となりました。</p> <p>③ 引き継ぎケースの帳票類に不備が多く見受けられました。また、請求業務に関しては‘過誤取り消し’申請が数件あり今後、再請求が続く状況となりました。</p> <p>④ 介護度が高くなるほどに、家族本位のケアプランに近づく傾向にあり、今後の課題となりました。</p>
(3) 事業所内の連携	<p>① ケアマネジャー間の考え方の違いにより、緊急時の対応など担当以外のケースへの支援が十分とは言えず、今後個々の業務内容をお互いがどう把握していくかが課題として残りました。</p> <p>② 支援会議にて、個々の担当ケースに関して近況報告は行うことはできていたが個人ワークとなってしまうことが多くなりました。</p>
(4) 相談・苦情の援助体制	<p>① 利用者、家族からの大きな苦情はなく業務を実施できました。</p> <p>② 苦情にかかわらず、支援内容等の記録は個々の判断にて対応を行うことが多くありました。</p>
(5) 従業員の育成	<p>① 個々のケアマネジャーの知識や能力が異なり、個々の判断に任せる支援となりました。お互いの業務内容について確認をしながら業務を行う体制を作ることが課題として上がりました。</p> <p>② 外部研修は希望する研修へ申し込むことができました。</p>

地域包括支援センター

重点目標及び課題	成果等
(1) 総合相談・支援事業	<p>① 総合相談への対応</p> <p>平成 27 年度の総合相談件数総数は 3358 件となり、実態把握訪問数は、相談があった件数も含め 456 件となりました。総合相談の内容も多岐にわたり、専門性の求められる相談も多く寄せられました。</p> <p>地域を把握することを目的として実態把握を実施しているが、結果として総合相談からの対応が多くを占めました。件数は伸びなかったものの、独居および高齢夫婦のみ世帯への実態把握も継続して実施しました。中には訪問後に緊急対応を実施したケースや、半年後に相談に上がったケースもありました。</p> <p>② 地域支援とネットワーク構築への取り組み</p> <p>地域支援を進めていくうえで不可欠となる認知症への対応として、認知症地域支援推進員が各地域包括支援センターに設置となりました。</p> <p>地域から認知症等に関する相談が寄せられた際には、地区担当者と一緒に訪問実施。包括内にて協働にて対応を実施しました。</p> <p>地域ケア圏域会議を開催した際には、認知症について地域での課題として上りました。地域の方々に働きかけ、認知症サポーター養成講座を 3 回実施。計 137 名のサポーターを新たに育成することができました。また地域との連携を図ることを目的とし、高齢者見守りネットワークの構築にも力を入れ、94 件の商店および事業所に依頼し、22 件の賛同をいただきました。また高齢者見守りネットワーク賛同者の方へも認知症サポーター養成講座への出席を依頼し、参加いただくことができました。</p> <p>③ 「わいわい熟の実施」</p> <p>平成 27 年度は開催日を月 1 回と増回し実施しました。暑い季節などは参加者数も減少していたものの、年間を通じて延べ 148 名の方に参加いただきました。参加者の口コミでさらに参加者が集まっていく状況が現在まで続いています。初期の認知症の方や認知症の家族を持っている介護者の方、あるいはお元気な方まで、幅広い方が参加されており、地域の身近な相談窓口として、徐々に周知することができました。</p>
(2) 介護予防事業対象者に対する介護予防マネジメント	<p>① 介護予防支援利用者への支援</p> <p>給付総数が平成 27 年 4 月では 70 件であったところ、平成 28 年 3 月には 85 件まで増加。自プラン、委託プランともに増加傾向でした。また地域により支援者数に大きく差が見られていることから、支援者数の多い地区担当者には負担が大きい状況が続きました。他地区担当</p>

	<p>者で受け持ちを実施。また要支援者を委託できる居宅介護支援事業所も少ない状況で、業務を圧迫している状況が続きました。</p> <p>地区によっては重度化するケースも多々あり、落ち着かない状況が続きました。</p> <p>② 二次予防事業対象者への把握・支援</p> <p>二次予防事業対象者の把握・支援の取り組みとして、延べ110件の対応を実施しました。その内、教室参加者は24名にでした。前年度からおよそ倍の希望者となり、年々、介護予防への興味が高まっていることが伺えました。参加された方の多くから、効果があったとの声が上がりました。</p>
<p>(3) 権利擁護業務</p>	<p>① 高齢者虐待への対応</p> <p>今年度は既に介護保険サービスを利用されている方への対応が多く占めました。ケアマネジャーには本当の話をせず、事態が悪化し、事件になってから発覚するケースが多く、対応も後手に回ることが多かった。ケアマネジャーと協働にて対応し、親族等に連絡するなど対応をしました。いずれも比較的早く解決することができ、包括全体で、円滑に対応することができました。</p> <p>② 消費者被害防止</p> <p>地域訪問を実施していると、消費者被害に遭ったあるいは遭いそうになった、との話が多く聞かれました。また消費者被害防止の観点より、出前講座や会議などで、啓発のためのチラシを配布。注意喚起および情報交換を実施しました。</p> <p>③ 成年後見制度</p> <p>成年後見に関する相談は定期的に寄せられました。今年度は市によって成年後見センターも設置され、ネットワークを活用しての支援が可能となり、認知症になってもいつまでも在宅で過ごすために、成年後見制度の利用は不可欠となっており、その支援に関して、親族やケアマネジャーあるいは専門職種にて相談をしながら実施しました。</p>
<p>(4) 包括的・継続的マネジメント事業</p>	<p>① ケアマネジャーへの支援</p> <p>ケアマネジャーからの相談は延べ206件でした。支援についての相談が主となり、要請による要介護者の担当者会議出席数は11回。中には困難ケースへの対応等もあり、年々支援が複雑化している状況が伺えました。居宅介護支援事業所へは125件取次・斡旋を実施。</p> <p>② ネットワーク作りの推進と強化</p> <p>定期的に地域ケア会議を開催することで、圏域内のケアマネジャーとのネットワーク構築に努めました。またケアマネジャー対象の研修会を第4</p>

<p>(5) その他</p>	<p>圏域と合同にて開催。医療と在宅との連携強化を図る目的として、在宅診療についての研修会を実施しました。</p> <p>① 危機管理について 緊急連絡カード必要時には配布を実施。また緊急対応に備え、保管ファイルの包括内統一を図りました。地区担当者でなくとも、何かの際には対応ができるよう、日々の業務を行った。また対応マニュアルに関しては、事業所内に掲示することで、周知を図りました。</p> <p>② 個人情報の管理 個人情報の管理には細心の注意を払って実施。情報提供時には、慎重に対応しました。</p> <p>③ 職員の能力向上と連携強化 職員の能力向上を目的とし、地域包括支援センターに関わりのある研修には積極的に参加し、専門性を高めた。また連携強化のため、定期的に話し合いの機会を設けました。</p>
----------------	--

平成 27 年度 高齢者あんしん相談センターむさしの 活動実績報告

総合相談支援	総合相談	訪問	1141件
		電話	1928件
		来所	289件
	高齢者実態把握訪問（再掲）		456件
	出前講座	回数及び受講延数	11回 405人
	出張相談会	回数及び相談延数	3回 35人
	地域ケア会議		5回
	関係機関との連携	会議出席	18回
権利擁護（再掲）	虐待	40件	
	成年後見	13件	
	消費者被害	10件	
包括的・継続的ケアマネジメント	ケアマネジャー研修会	1回 70人 内容「在宅におけるターミナルケア」	
	担当者会議出席	11回	
	ケアマネジャーからの相談など	206件	
見守りネットワーク普及活動	訪問活動件数	94件	
	承諾事業所数	（27年度に訪問して承諾をもらった数）22件	
二次予防事業 ケアマネジメント	訪問・電話	110件	
	ケアマネジメント	実人数と延数 24人 41件（年度末まで提出分）	
予防給付	包括	給付管理数(延数)実人数 446件 52人	
	委託	給付管理数(延数)実人数 535件 59人	
介護者支援	介護者教室	回数及び受講延数 2回 38人	
	介護者サロン支援	11回	
認知症サポーター養成講座	回数及び受講延数	3回 137人	
その他	コバトンお達者倶楽部 31枚、「わいわい熟」開催	11回 148人	
地域行事などへの協力	水谷公民館文化祭等		

6 栄養課

総合目標及び課題

- ・ソフト食の充実と拡充をします。
- ・品質の安定化をします。
- ・豊かな食生活を提供します。

重点目標及び課題	成果等														
(1) ソフト食メニューの拡充と品質の安定化	<p>① 嚥下困難者用のゼリー状具なし汁、ゼリー状ミキサー粥、肉類、おやつ類について摂食嚥下困難者に向けたソフト食メニューの拡充を行いました。</p> <p>凍結含浸法を用いた食材を軟化させたソフト食については出来上がり（軟化の度合い）に不十分な点が度々ありましたので今後一層の努力と改善が必要だと考えています。</p>														
(2) 調理マニュアルの確認と作業の行程の共有	<p>① 調理マニュアルの確認、計測、計量の必要性を各調理従事者が理解し調理作業に携わった結果、以前に比べ出来上がりの品質が安定しました。しかしながら改善点も少なからずありますので、いつも同じ出来上がりとなるよう努力を重ねます。</p>														
(3) 季節ごとの行事食の実施とお楽しみメニューの実施	<p>① 末尾の（表1）のとおり実施しました。</p> <p>28年度も同様に実施します。</p>														
(4) 栄養ケア・個別対応の実施	<p>① 1年間利用者の栄養状態の把握と利用者の状態に合わせ、食事の提供を行い栄養状態が良好に保たれるよう努めました。</p>														
(5) 食を通じた楽しみの提供	<p>① 昨年度は春の彼岸に合わせ「ぼたもち作り」を行いました。作ることができたのは一部の利用者だけでしたが他職種の職員の協力もあり一緒にぼたもちを作ることができ、大変喜んでもらうことができました。</p> <p>（表1）</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">平成27年度行事食一覧</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4月8日</td> <td>江戸前寿司と太巻き</td> </tr> <tr> <td>4月23日</td> <td>ちらし寿司</td> </tr> <tr> <td>5月5日</td> <td>端午の節句行事食</td> </tr> <tr> <td>5月26日</td> <td>鶏そぼろ弁当</td> </tr> <tr> <td>5月30日</td> <td>ホームパーティー（ひだまりの庭）</td> </tr> <tr> <td>6月11日</td> <td>寿司</td> </tr> </tbody> </table>	平成27年度行事食一覧		4月8日	江戸前寿司と太巻き	4月23日	ちらし寿司	5月5日	端午の節句行事食	5月26日	鶏そぼろ弁当	5月30日	ホームパーティー（ひだまりの庭）	6月11日	寿司
平成27年度行事食一覧															
4月8日	江戸前寿司と太巻き														
4月23日	ちらし寿司														
5月5日	端午の節句行事食														
5月26日	鶏そぼろ弁当														
5月30日	ホームパーティー（ひだまりの庭）														
6月11日	寿司														

	7月7日	七夕行事食
	7月25日	納涼祭（むさしの）
	8月6日	寿司
	8月6～7日	花火行事（ひだまりの庭）
	8月18日	助六弁当
	9月3日	寿司
	9月12日	敬老会（むさしの）
	10月6日	寿司
	10月31日	防災訓練食
	11月3日	のり弁当
	11月6日	居酒屋行事（ひだまりの庭）
	11月18日～27日	鍋行事（むさしの）
	12月12日	餅つき（ひだまりの庭）
	12月13日	餅つき（むさしの）
	12月17日	カニちらし寿司
	12月25日	クリスマス行事食
	12月31日	大晦日
	1月1日	おせち料理と雑煮
	1月2日	寿司
	1月3日	天ぷら
	1月9日	新年会（むさしの）
	1月10日	新年会（ひだまりの庭）
	2月3日	節分行事食
	2月23日	五日ちらし寿司
	3月3日	ひな祭り行事食
	3月15日	寿司